

南湖

(なんこ)



全景



ため池と那須連峰

ため池の概要

□ため池の所在地

福島県白河市

□ため池の特徴

南湖は、日本最古の公園の一つとも言われており、白河藩主松平定信によって、1801年、身分の差を越え庶民が憩える「土民(土農工商)共楽」という思想で造られた農業用のため池公園です。

大正13年には南湖公園として国の史跡及び名勝に指定されています。

ため池の水は現在も社川沿岸の104haの農地を潤しており、地域の重要な水源となっています。

南湖には神社や翠楽苑という日本庭園が併設されており景観も良いことから、現在も、花見や祭り、初詣など市民の憩いの場となっています。

また、千世の堤からは、目の前に広がる湖の向こうに、左右両面をなだらかな丘陵で挟まれた那須連峰を望むことができます。

池では様々な希少な植物も確認されており、市民活動として、環境教育、清掃ボランティア、南湖祭、ヒシ除去による水質浄化ボランティア清掃活動も行われています。

関連情報